

**報告書骨子（案）及び各領域の担当委員
（希少がん対策専門部会）**

統括責任		上田	後藤		
	報告書骨子（案）	主担当	副担当		
1	報告書のスコープ、言葉の定義	川井	柴田大	上田	
2	希少フラクション化の現状と医療への影響および社会的影響	安藤	成川	西川・門田	
3	革新的な科学技術による希少集団の医薬品開発	NGS	柴田龍	木村	後藤
		iPS	平家	戸口田	松本
		遺伝子治療	谷	柴田龍	水谷
		臨床導入	木村	安藤	松井・後藤
4	希少がんに対する臨床試験のあり方、希少の程度やがんの種類による開発アプローチの違い	成川	安藤	柴田大・松井	
5	希少がん登録の推進、臨床試験の体制整備	松本	川井	柴田大・門田	
6	診断（病理、免疫、分子等）の標準化／中央化と臨床情報を紐付けたバイオバンクの整備などの対応	水谷	平家	柴田龍・西川	